

令和5年度東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会
畑作物栽培研究会（夏期） 開催要領

東北農業試験研究推進会議 作物生産推進部会長
農研機構東北農業研究センター
水田輪作研究領域長 迫田登稔

1. 趣 旨

世界的な穀物需要の増加やエネルギー価格の上昇に加え、国際情勢の変化により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し、肥料価格が高騰している。作物の生産コストを抑制するためには、海外原料に依存している化学肥料の低減や堆肥等の国内資源の活用、緑肥作物の利用のほか、土壌診断に基づく適正な施肥を基本とし、効率的な施肥技術の開発も必要である。今回、圃場の地力の消耗を抑えつつ、畑作物生産に影響のない効率的な肥料高騰対策について、意見交換や現地検討会を通じた検討を行う。

2. 開催日時 令和5年8月29日（火）13:15～8月30日（水）12:20

3. 開催場所

- 1) 研究会 山形県農業総合研究センター（山形県山形市みのりが丘 6060-27）
- 2) 現地検討会
 - (1) 農事組合法人あじさい営農組合（山形県山形市）
 - (2) 山形県農業総合研究センター（山形県山形市）
 - (3) 農事組合法人ファームひなの里（山形県西村山郡河北町）

4. 内 容

- 1) 研究会「堆肥等の国内資源を活用した肥料高騰対策」
8月29日（13:15～17:00）（バス送迎 JR山形駅西口 集合12:30、解散17:45）
 - (1) 東北農政局による情勢報告
 - (2) 講演「有機物資材の連用試験から分かった転換畑の地力維持効果と減肥の可能性（仮題）」
農研機構 東北農業研究センター 上級研究員 戸上和樹
 - (3) 畑作物生育状況および試験概要報告（各県・農研機構東北農研センター）
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
- 2) 現地検討会 8月30日（8:40～12:20）
（集合8:30 JR山形駅西口、解散12:20 JR山形駅西口）
 - (1) 大豆栽培における高速汎用播種機の導入事例（山形市村木沢）
 - (2) 大豆・そば試験圃場の紹介（山形市みのりが丘）
 - (3) 発酵鶏糞を活用した大豆栽培事例（河北町谷地）

5. 参集範囲

国立研究開発法人試験研究機関および公設試験研究機関の関係者、東北農政局担当官、県行政部局・県普及部局の関係者、「東北農業のイノベーション技術創造」研究開発プラットフォームの会員、その他推進部会長が必要と認める者

6. 連絡先

農研機構東北農業研究センター（大仙研究拠点）水田輪作研究領域
上級研究員 島村聡（〒019-2112 秋田県大仙市刈和野字上ノ台 297）
Tel: 0187-75-1084 Fax: 0187-75-1170 E-mail: shimamu@affrc.go.jp
山形県農業総合研究センター 土地利用型作物部
開発研究専門員 今川彰教（〒990-2372 山形県山形市みのりが丘 6060-27）
Tel: 023-647-3516 Fax: 023-647-3502 E-mail: imagawaa@pref.yamagata.jp
（研究会の運営、資料提出等の詳細については、別途事務連絡します。）